

市民ワークショップ

# 生活環境・コミュニティ グループからの提言

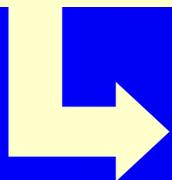
平成22年5月15日

新井博、石毛悦子、日下友紀子、泰間靖洋、  
高崎潔子、成宮徳良、古元秀子、南和雄、山口孝

(50音順)

ファシリテータ： 安井英人

# 生活環境・コミュニティ グループの検討領域



市民生活をする上での日常的な市民と行政の  
関わり方の検討が主題

1. 自治会・町内会のあり方
2. 市民によるボランティア活動
3. 非常時の防災対応
4. 環境破壊に対する防衛
5. 市民目線での地域環境整備(ハード)

テーマ1 :

## 自治会・町内会による地域組織・地域活動のあり方

提言の背景

- ・ごみ出し管理、行政等からの広報の配布、募金収集など行政の代行業務が中心となっていて、地域住民の自律的な本来の住民自治組織として十分に機能していない



対応の方向性

- ・地方分権には、補完性の原理として「問題はより身近なところで解決されるべきである」との考え方がある
- ・市民の底力を引き出す手段として、町内会、自治会は“モノ言う市民”の代表となり市政に参加
- ・自治会組織を活用した生活環境の維持改善を図る

テーマ1 :

## 自治会・町内会による地域組織・地域活動のあり方

具体的な提案

- ①行政が自治会に求める機能（行政代行機能）の明確化
- ②自治会と権限を持つ部署とのコミュニケーションの強化
- ③自治会の作り方、体制（上部組織などを含む）、役割の見直しと、ガイドラインの提示
- ④区単位での自治会の真の組織化と、区の機能および権限の強化
- ⑤市民の行政への参加促進と、複数のチャネルからの広範な意見の聴取

テーマ2 :

## ボランティア活動の支援

提言の背景

- ・現状のボランティア活動は、近隣関係が希薄化する中で、地域で進んで取り組める共助のシステムになっていない



対応の方向性

- ・自治会が地域に不可欠な役割を担う組織である一方で、誰もが自分の能力を活かし、人間関係を持ち続けられるよう、市民の自主的な**共助活動の多様化と活性化**を促進することが必要
- ・ボランティア活動により、人に喜んでもらえ、**自己達成感を形にすることが活動を継続させる意欲**となる。市はその仕組みを提供すべき

テーマ2 :

## ボランティア活動の支援

具体的な提案

- ①誰もが楽しく、自発的に共助活動に入れる**情報環境の整備**（「できます」-「してください」の情報化）
- ②リタイア世代の人材の活用環境の整備
- ③行政による、活動の始動当初のサポート（でも主体は市民）
- ④人がつながり、**活動を続けやすくする仕掛けの工夫**（ポイント制度、地域通貨などの実績評価の仕組み）
- ⑤行政と市民活動の協働の仕組み化

## テーマ3 :

# 生活安全の確保

### 提言の背景

- ・行政の生活安全対策は、市民からは十分なのか、有効に機能するのかが見えにくい。検証されていない



### 対応の方向性

- ・生活安全の確保領域として、防犯、防災、交通安全を定義。特に防災は重要
- ・行政からの一方的な生活安全策ではなく、住民参画による、より地域に密着した生活安全環境を築き上げる必要がある

テーマ3 :

## 生活安全の確保

具体的な提案

- ①住民が参加し、災害シミュレーションによる要対応事項の洗い出しと対応責任の階層別明確化
- ②行政と住民協同での防災行動マニュアルの作成
- ③防災行動マニュアルを中心とした生活安全策の検証と経験の横展開の実施
- ④災害対策資機材の身近な整備など、喫緊の災害対応策の早急な実施

## テーマ4 :

# 環境破壊に対する防衛の強化

### 提言の背景

- ・住宅地への風俗営業の出店、住宅周辺地域への産業廃棄物業者等の進出など、行政はこれらの問題について、建築基準法、都市計画法、道路交通法その他の諸法令に違反していないか否かをチェックし、法令に合致するよう申請手続きの改善指導をするが、それ以上でも以下でもない

### 対応の方向性

- ・住環境変化に対し、法規制を超えた行政と住民一体の環境防衛体制を整える必要がある

テーマ4 :

## 環境破壊に対する防衛の強化

具体的な提案

- ①住民への早期の情報提供
- ②市街化調整区域の線引きの見直し
- ③行政による調停の場づくり

テーマ5 :

# 地域住民の生活環境としてのハードウェアの整備

提言の背景

- ・住環境は地域により大きな格差がある
- ・既存の公共施設が目的に合った活用が十分にされているとは言い難い
- ・公共施設の所管が市民に分かりにくい
- ・千葉駅前環境が極めて良くない

対応の方向性

- ・投資は公平な生活安全確保の観点で優先順位を決める
- ・現存する公共施設の管理・運用方法の改革と、足回りの工夫による利便性の向上を図ってゆく

テーマ5 :

# 地域住民の生活環境としてのハードウェアの整備

具体的な提案

- ①都市交通ネットワークの構築(足回りの改善)による公共施設活用の効率化
- ②生活安全の観点からの住環境整備の優先実施  
(投資優先順位についての方針)
- ③既存の公共施設の目的の再確認と、住民が真に求めるサービスの提供
- ④施設所管部署の組み換え
- ⑤ごみ処理能力の強化で清潔で美しい街づくり
- ⑥「千葉市の顔」としての千葉駅前環境の整備

以上、生活環境・コミュニティグループからの  
提言でした。

ご清聴ありがとうございました。